



枕崎市

市議会だより

2019

1

月号

No.303

謹賀新年

新しい年が市民の皆様にとりまして
幸多き年となりますよう
お祈り申し上げます

題字：枕崎高校3年 立石七海さん書
写真：平成30年の初日の出（火之神公園から）



議会だよりの表紙の写真を募集しています。
詳細は最終ページをご覧ください。

主な記事

contents

- 委員会審査の概要…………… 1 P
- 議案と結果…………… 8 P
- 一般質問…………… 9 P
- 市民と市議会との意見交換会…………… 12 P
- 編集後記…………… 15 P

発行●枕崎市議会

編集●枕崎市議会報調査特別委員会
〒898-8501 枕崎市千代田町27番地
TEL.0993-72-1111

新年のごあいさつ

枕崎市議会議長 新屋敷 幸隆

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、明治維新150周年、大河ドラマ「西郷どん」と、鹿児島県や私達の先人達が大きいに脚光を浴びました。今年は、それにも増して特別な年となります。まず、元号が変わり新しい時代が始まります。そして、東京オリンピックまであと1年となる中、昭和24年に市制をしいた我が市は70周年を迎えます。戦後、焼け野原となり何も無い町を、我々の先人達は汗を流し、涙を流し、枕崎台風とルース台風の2度にわたる大災害にも負けず、こつこつと築きあげてきました。このような節目に、改めて先人達に頭を垂れ、感謝いたします。

議会におきましては、市民ファーストのもと速やかに、丁寧な案件に対処し、積極的に市の発展のために取り組んでいきます。

議長として、昨年も各省庁、国会議員への多くの要望活動を重ね、さらには全国市議会議長会の役員として各議長との情報交換に努めてまいりました。国の元気は地方の元気から始まる。新年度も、さらに活発な活動を展開していきます。

新しい時代、市制施行70周年にふさわしく枕崎市は南薩の雄として、ますます光り輝かなければなりません。そのためにも、議会は市民の皆様と共に真つすぐに邁進しなければなりません。どうか、今年も枕崎市議会をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、実りある、幸せな年でありますよう祈念し、新年のごあいさついたします。

平成29年度決算 一般会計など7会計を認定

平成30年第3回定例会

平成30年第3回定例会は、9月7日から10月3日までの27日間の会期で開かれました。

この定例会では、予算関係議案6件、平成29年度各会計の決算の認定7件のほか条例の改正などについて審査を行い、10・11日の本会議では、6名の議員が一般質問を行いました。

主な内容については、次のとおりです。

委員会審査の概要

総務文教委員会

○議案第51号

枕崎市過疎地域自立促進計画の変更について

本件は、枕崎市過疎地域自立促進計画の一部を変更することについて、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定に基づき議会の議決を得ようとするものです。

問 今回、県営畑地帯総合整備事業担い手育成型事業を計画から削除することについて

答 この事業は、枕崎地区全体の農業用排水、農道、客土について、各集落等から要望等を聞き取り、導入することとしているが、平成28年の豪雨により被災したことから、農業農村整備事業の長期的な計画において、県との協議により、水路部分については、防災・減災事業で前倒して実施することとし、残りの部分については、事業を32年度以降に先送りしたことによるものである。

問 入札の実施状況について

答 市内経済への波及効果や緊急時の機器の

○議案第52号
枕崎市防災行政無線同報系デジタル化施設整備工事の請負契約について

本件は、枕崎市防災行政無線同報系デジタル化施設整備工事の請負契約を締結するため、枕崎市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を得ようとするものです。

故障等への対応やメンテナンスを考慮し、市内の電気工事業者とのJVを組むことを条件の一つとして条件つき

一般競争入札を行った。入札参加資格要件を満たす業者が少ない中で、電子入札を行った結果、2者が辞退し、1者のみの入札となった。

なお、行政実例等や県においても、一般競争入札においては、入札者が1者であっても競争性は確保され有効として、このことから、落札決定をした。

産業厚生委員会

○議案第48号

枕崎市健康づくり推進条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、市民の健康づくりの推進を図るために枕崎市健康づくり推進協議会を設置しようとするものです。

問 健康まくらざき21策定検討懇話会との違いについて

答 委員の選定については、健康まくらざき21策定検討懇話会の構成メンバーを基本にして、新たに薬剤師会等に入ってもらい17人程度を予定している。また、協議会委員から率直な意見が出やすく、さまざまな意見を聞ける会になるよう考えている。

○議案第49号

枕崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、これに準じ、所要の改正をしようとするものです。

問 家庭的保育事業等について

答 大きく分けて家庭

的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の4つの形態があるが、現在、本市内にはこの条例の適用を受けられる施設はない。

○議案第50号

枕崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、これに準じ、所要の改正をしようとするものです。具体的内容としては、放課後児童支援員に関する基礎資格のうち教員免許有資格者に係る部分の明確化とともに、基礎資格を有しない者が放課後児童支援員認定研修を受講する場合の要件の緩和が図られたとのこと。

問 放課後児童クラブ

の利用者は何名いるのか。

答 平成30年3月末現在、市内に6つの放課後児童クラブがあり、322人の子供が利用している。

○議案第53号

損害賠償の額の決定及び和解について

本件は、市道に生じていた穴ぼこが原因で発生した物損事故で、市側の100%の過失で、全額を道路賠償責任保険で支払うもので

す。今後、このようなことのないよう道路のパトロール及び点検を徹底していきたいのとことです。



予算特別委員会

○議案第42号

平成30年度枕崎市一般会計補正予算(第2号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ2億9350万円を追加し、予算総額を115億6450万円にしようとするもので、当初予算額より13・7%の伸びとなります。

では、繰越金2億2529万7000円、繰入金4406万1000円、市債1254万3000円、県支出金421万1000円、諸収入332万円、国库支出金313万1000円、寄附金60万1000円、地方特例交付金33万6000円の増で措置したとのことです。

塔切地区構造物撤去工事については、相手方との解決策が担保されていないこと。本市の厳しい財政事情の中で貴重な一般財源を充当することは市民の理解が得がたいこと。また、議会としても説明責任を果たせないことが思慮されるとの理由で、中原重信委員ほか7名から工事に伴う経費890万円全額を削除する修正案が提出されました。

これを受け、採決に当たっては、まず修正案を採決した結果、賛成多数で可決すべきも

のと決定し、引き続き修正部分を除く原案について採決した結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

○議案第43号

平成30年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ7536万7000円を追加し、

予算総額を37億6718万8000円にしようとするもので、当初予算額より2.1%の伸びとなります。

補正の内容は、制度改革に伴うシステム改修経費118万8000円の増額、療養諸費については、本年度実績見込みに基づく、一般被保険者療養給付費3000万円の減額と退職被保険者等療養給付費2400万円の増額、高額療養費についても、本年度実績見込みに基づく退職被保険者等高額療養費600

万円の増額で、償還金及び還付加算金については、平成29年度精算に伴う療養給付費等負担金に係る精算返納金などの合計7417万

○議案第44号

平成30年度枕崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ305万

3000円を追加し、予算総額を3億3125万2000円にしようとするもので、当初予算額より1.6%の伸びとなります。

補正の内容は、平成29年度決算に伴う精算分、後期高齢者医療広域連合納付金211万4000円及び一般会計繰入金精算返納額93万9000円の増額

で、財源として、繰越金305万1000円及び諸収入2000円の増で措置したのとことです。

○議案第45号

平成30年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億52

80万9000円を追加し、予算総額を27億8726万4000円にしようとするもので、当初予算額より約5.8%の伸びとなります。

補正の内容は、平成29年度決算確定に伴う精算分、介護給付費準備基金積立金655万8000円、介護給付費負担金等返納金4409万9000円、一般会計繰入金431万2000円の増額で、財源として、繰越金1億5280万9000円の増で措置した

○議案第46号

平成30年度枕崎市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

今回の補正は、歳入

歳出それぞれ3750万7000円を追加し、予算総額を8億5318万1000円にしようとするもので、当初予算額より4.6%の増となります。

委員からの意見等

・汚泥処理費用の増加に伴い、使用料だけでは賄い切れないので、対応策について検討してもらいたい。

○議案第47号

平成30年度枕崎市立病院事業会計補正予算(第1号)

今回の補正は、収益

的支出において、給与の減、経費の増に伴い医療費用を556万5000円の減額、支払利息及び手数料の増に伴い医療外費用を12万7000円増額しようとするものです。

補正後の収支は、総収益6億1687万2000円に対し総費用7億2651万9000円となり、1億964万7000円の純損

決算特別委員会

9月14日から20日までの4日間、委員会を開催し審査を行いました。また、審査に先立ち平成29年度に実施した事業の現地確認を行いました。

【各会計の決算収支状況】

会計別		歳入（決算額）	歳出（決算額）	差引額
一般会計		113億5,148万6,635円	109億6,675万2,974円	3億8,473万3,661円
特別会計	国民健康保険	42億4,289万4,893円	41億5,472万4,151円	8,817万0,742円
	後期高齢者医療	3億3,098万3,940円	3億2,793万1,144円	305万2,796円
	介護保険	24億6,083万2,813円	23億0,802万0,914円	1億5,281万1,899円
	公共下水道事業	8億1,539万9,966円	7億8,563万8,227円	2,976万1,739円

○認定事項第1号
平成29年度枕崎市
一般会計歳入歳出決算

歳入総額は、1億5,148万6,635円、歳出総額は1億9,675万3,000円、いわゆる形式収支は3億8,473万3,661円の黒字で、前年度に比べ7,066万9,000円の増となっております。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は3億8,402万9,000円の黒字で、前年度に比べ2,598万7,000円の増となり、実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は2,598万7,000円となり、この単年度収支に財政調整基金の積み立てと取り崩し及び地方債繰上償還金を加味した実質単年度収支は1億1,808万円の黒字で、前年度に比べ1億3,692万3,000円の増とな

っております。

決算統計による指数等においては、財政力指数は0・413で前年度に比べ0・016ポイント高くなっております。

標準財政規模は59億8,754万7,000円で、前年度に比べ1億5,434万円の減となっております。

経常一般財源収入額は57億9,861万1,000円で、前年度より7,395万1,000円の減となっております。

財政の弾力性を示す経常収支比率は94・2%で、前年度に比べ0・5ポイント悪化となっております。

地方債現在高は106億4,171万1,000円で、前年度に比べ2,700万5,000円の減となっております。

積立金現在高は19億9,673万9,000円で、前年度末に比べ2億9,962万5,000円の増となっております。

財政健全化法に定め

られている実質公債費比率は10・8%で、前年度に比べ0・5ポイント改善されています。

将来負担比率は98・5%で、前年度に比べ12・2ポイント改善されているとのことです。

問 地方創生
地方創生の事業がどの程度進んでいるのか。

答 4つの政策分野の17事業を実施しているが、29年度にKPIを達成したのは、枕崎への新しい人の流れをつくるの中での、香港における南部広域観光・物流促進事業で、本市において外国人の宿泊者数等が増加したとのこと、ほかの事業については、顕著な効果はまだ出ていない。

取り組む事業において地域再生計画を策定し、内閣府の認定を受けなければならぬが、まだその個別の検討には至っていない。

委員からの意見等
・副市長の前任地の阿久根市の松木公安の生家を保護する事例、いちき串木野市の高校の活性化への取り組み事例等を参考に、本市も研究をしてほしい。

・関東、東海、近畿枕崎会等を通じて、枕崎市出身で市外で会社を経営している人達を調べて、企業版ふるさと納税に邁進してほしい。

人件費
問 歳出総額における人件費の割合が高いことについて、どのように考えているか。

答 分母となる歳出決算規模が小さいこと及び職員の平均年齢が一番高い状況にある。

問 19市の中で20%を超えているのは本市のみであり、人件費の比率が高いことについてはどのように考えているか。

答 経常収支比率が高いことにもあらわれているように、財政が非常に硬直している状況にある。平成29年4月1日現在のラスパイレス指数は19市中12位であり、職員給与費についても減少してきている状況にある。



平田瀉下流排水機場樋門ゲート改良工事の調査

多面的機能支払交付金

問 多面的機能支払交付金の交付額が、平成28年度は1280万円、平成29年度は2540万円と増額になっていく理由は。

答 平成28年度までは4組織8集落が参加していたが、平成29年度から別府地区の3組織が参加したことによるものである。

また、交付金の効果については、この事業に取り組むことにより農村の高齢化が進む中で、集落の維持管理の費用負担が減り、また地域の活性化につながっていると思う。

漁港活性化事業

問 地域産業競争力強化の漁港活性化事業は、平成29年度で終了とあるが、結論はどうなったのか。

答 最終的に冷凍水産物のコンテナ輸出入という形が見えてきた。カツオ漁業を行っている中西部太平洋のミク

ロネシアの海域にて冷凍コンテナ航路が敷かれており、船社の枕崎への入港ということを視野に入れながら今後整備を検討していく形になる。

公園施設長寿命化対策支援事業

問 公園施設長寿命化対策支援事業の中で、市営野球場のフェンスがコンクリートで、以前からラバーフェンスへの要望があり、今後どのように対応するのか。

答 都市公園内のスポーツ施設の整備に係る補助制度については、国や県、あるいはその他の助成制度などがある。今後、活用できる補助制度について検討していきたい。

問 ふるさと納税の活用により、ラバーフェンスの整備はできないのか。

答 施設整備には優先順位があり、ふるさと納税は事業の財源の検

討の一部であるので、それに充てるとは断言できない。クラウドファンディングで寄附を呼びかける手法はあるが、それはまた別の問題として考えなければならぬ。

委員からの意見等

・ 野球場を何とかいい形で活用したいという市民の声もあるので、いい形で実現してほしい。



学校施設整備状況の調査

全国学力・学習状況調査

問 平成30年度の全国学力・学習状況調査において、本市中学3年生は4科目全てにおい

て全国平均を上回るといふすばらしい成績をおさめたとのことであるが、29年度にどのような取り組みを行ったのか。

答 1番目は教科部会の回数をふやし、PDCAサイクルで教員の指導力向上を図ったこと。2番目は学力向上や生徒指導の充実には小中学校の連携が非常に大切と考え、指導等の研究実践を共有することや連携強化に努めたこと。3番目は管理職の資質向上や教育委員会と同じベクトルで取り組めるよう努めた。

問 中学校と同様に小学校の学力を上げるための考え方は。

答 A問題は知識だが、B問題は応用であり生きて働く力を見る問題であることから、学校だけの教育で身につくものではない。学校・家庭・地域の相乗効果をもたらさないと学力

向上には結びつかない。来年に向けてまた頑張っていきたい。

普通交付税

問 普通交付税が県内の類似都市と比較して少ないこと、また平成27年度は約32億6000万円、平成28年度は約31億円、平成29年度は約29億5000万円と減額している理由は何か。

答 例えば、西之表市、垂水市と比べた場合、基準財政収入額において税収等に7億円以上の差があることや基準財政需要額において、平成28年度から平成27年度勢調査で減少した人口で算定していること。また自然災害防止事業等の償還が終了し、公債費の基準財政需要額が減少したこと等によるものである。

○認定事項第2号

平成29年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○認定事項第3号

平成29年度枕崎市後高齢者医療特別会計歳入歳出決算

認定事項第2号平成29年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び認定事項第3号平成29年度枕崎市後高齢者医療特別会計歳入歳出決算は一括議題としました。

平成29年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要は、入歳出決算の概要は、入歳入総額は42億4289万5000円、歳出総額は41億5472万5000円、歳入歳出差引額は8817万円となりました。

国民健康保険税は、収入済額は5億4756万1700円で前年度より825万793円の減、収納率は89.1%で前年度より1.5ポイント上昇しまし

た。被保険者数は、前年度に比べ372人減の6228人となっております。

平成29年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の概要は、歳入総額は3億3098万4000円、歳出総額は3億2793万2000円で歳入歳出差引額は305万2000円となりました。

問 平成29年度の国保運営は。

答 前期高齢者交付金が前年度より2億5000万円程度増加し例年並みとなり、また保険財政共同安定化事業拠出交付金から拠出金を差し引いても、約1億円のプラス収支になるなど、非常に良好な運営ができた。

問 不納欠損額を少なくしようという対応策を考えているか。

答 新たな滞納を生まさない、現年度分を繰り越さないことを一番に考えている。滞納になったものについては、

滞納者と納税相談をしながら納税計画を一緒に作成するとともに、納税管理をしていくことが重要と考えている。

○認定事項第4号
平成29年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算

問 平成29年度は第6期計画の最終年度に当たるが、この3力年の結果はどうだったのか。

答 計画では平成29年度末の要介護認定率が20・9%と見込んでいたが、実績は15・8%と大幅に下回っており、介護予防事業として、筋トレサロンやてぎげ広場に取り組んできた効果があらわれているものと考えている。

問 予防事業としての

今後の取り組みをどのようにするのか。

答 筋トレサロンやてぎげ広場等、現在取り組んでいる事業を維持・充実する方向で考えている、てぎげ広場は、平成29年度は8つの公民館で実施されているが、将来的には20公民館にふやしたい。

また、男性の参加者をふやすことや認知症予防のために、他の自治体が集いの場で実施している囲碁、オセロ、マージャン等についても研究していきたい。

○認定事項第5号
平成29年度枕崎市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

問 3次計画区域と4次計画区域の水洗化率が悪いがどのような状況なのか。

答 3次区域は69・1%、4次区域は57・0%の水洗化率であり、悪い原因として合併処理浄化槽を設置していること、高齢者層が多く経済的に困難であること等が要因であると考えている。9月10日は下水道の日であり、9月を中心に戸別訪問し、水洗化のお願いをしている。

問 予防事業としての

化率は87・4%ということですが。



下水道処理施設

るさらなる水洗化のお願いや、公民館総会などを利用した呼びかけ等、水洗化率向上に努力していきたい。

○認定事項第6号
平成29年度枕崎市立病院事業決算

問 3次計画区域と4次計画区域の水洗化率が悪いがどのような状況なのか。

答 3次区域は69・1%、4次区域は57・0%の水洗化率であり、悪い原因として合併処理浄化槽を設置していること、高齢者層が多く経済的に困難であること等が要因であると考えている。9月10日は下水道の日であり、9月を中心に戸別訪問し、水洗化のお願いをしている。

問 今後戸別訪問によ

来患者数は1万4341人で前年度より592人減となりました。

問 入院患者数がふえた理由は何か。

答 高齢者が重症化してから入院すると入院期間が長くなり、ひいては認知症などを発症する可能性があるため、医師が早めに入院を勧めていることから入院患者数がふえた。

問 外来患者数が直線的に減少している理由は何か。

答 外来患者は高齢者が多く、人口減少の影響を受けていること、内科しかないことで総合病院より不利な面があること、高齢者の患者がより身近な病院の利用がふえているということが要因ではないかと考えている。これを打開するために、院長等が複数の公民館に向いて健康講座を開催しており、好評を得ている。

【公営企業の決算状況】

会計別		収入（決算額）	支出（決算額）
病院事業	収益的	6億7,215万1,202円	6億6,049万4,528円
	資本的	250万9,000円	3,611万4,472円
水道事業	収益的	4億6,648万8,147円	4億0,302万7,284円
	資本的	3,197万5,796円	1億9,087万6,210円

○認定事項第7号

平成29年度枕崎市水道事業決算

平成29年度枕崎市水道事業剰余金処分計算書

平成29年度枕崎市水道事業剰余金処分計算書

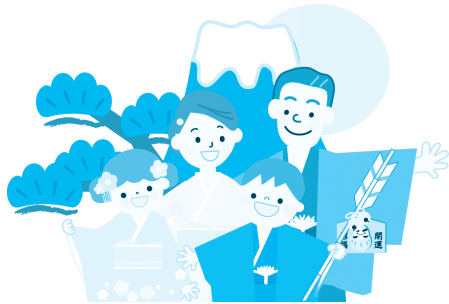
総収益は4億3260万4332円、総費用は3億7477万8256円で5782万6076円の純利益となります。

未処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金6429万6004円を加え、1億2212万2080円となりました。

年度末における給水戸数は、1万529戸で前年度に比べ54戸の減、給水人口は1万809人で前年度に比べ228人の減となりました。

問 片山配水池の耐震診断の結果はどうだったのか。

答 平成29年度に耐震診断を実施し、その結果、一部に基準を満たしていない箇所があり、



平成30年度から基本設計に入り、33年度から躯体工事に入る予定で、予算的には3億8300万円ぐらいを見込んでいます。

問 職員1人当たりの営業収益が、県下19市の中で一番低いことについてどのように考えているか。

答 人件費や委託費を含む営業収支比率では、県下19市の平均より10・4ポイント高く、6番目となっているが、今後も包括的委託等について検討し、業務改善を進めたいと考えている。

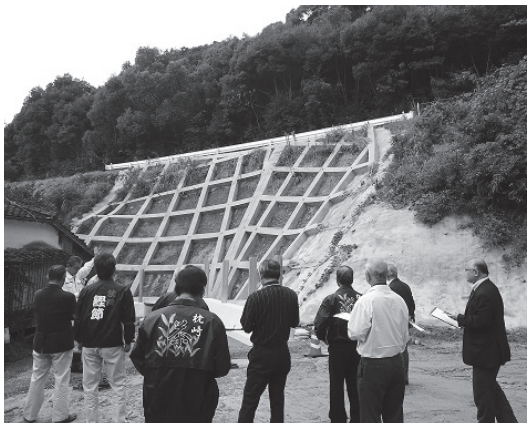
所管事務調査

産業厚生委員会

調査日：11月16日

調査内容

- ・市道の側溝の状況について
- ・県単急傾斜地崩壊対策について
- ・用水路の状況等について
- ・瀬戸公園の整備状況について
- ・食の自立支援事業について



県単急傾斜地（宇都地区）の事業状況

総務文教委員会

調査日：11月21日

調査内容

- ・市内中学校の運営状況、施設の管理状況について
- ・別府小学校のプールのシャワー施設の改修状況について



中学校の概要説明状況

議案と結果

平成30年第3回定例会

(全会一致で議決された案件)

番号	議案名等	議決結果
議案第43号	平成30年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第44号	平成30年度枕崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第45号	平成30年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第46号	平成30年度枕崎市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第47号	平成30年度枕崎市立病院事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第48号	枕崎市健康づくり推進条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第49号	枕崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第50号	枕崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第51号	枕崎市過疎地域自立促進計画の変更について	可決
議案第52号	枕崎市防災行政無線同報系デジタル化施設整備工事の請負契約について	可決
議案第53号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第55号	農業委員会委員の任命について	同意
認定事項第7号中	平成29年度枕崎市水道事業剰余金処分計算書	可決
	議員派遣について	
	継続調査申し出について	

(賛否が分かれた案件)

※賛成は○、反対は●、欠席は欠、除斥は除、退席は退、一は議長のため表決していない。

番号	議案名等	議決結果	議員名(議席順)													
			新屋敷幸隆	永野慶一郎	吉嶺周作	城森史明	吉松幸夫	俵積田義信	清水和弘	瀬占通男	沖園強	茅野勲	下竹芳郎	豊留榮子	立石幸徳	中原重信
議案第42号	平成30年度枕崎市一般会計補正予算(第2号)に対する修正案	修正可決	—	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	平成30年度枕崎市一般会計補正予算(第2号)に対する修正議決した部分を除く原案		—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	—	無記名投票(賛成10票、反対3票)												
認定事項第1号	平成29年度枕崎市一般会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定事項第2号	平成29年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定事項第3号	平成29年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定事項第4号	平成29年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定事項第5号	平成29年度枕崎市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定事項第6号	平成29年度枕崎市立病院事業決算	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定事項第7号	平成29年度枕崎市水道事業決算	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

子供たちの学習環境を整え、命を守るためにも普通教室にエアコン設置を



■ 豊留 榮子 議員

問 ことしの夏は、気象庁が災害と表現するような暑さが続いている中、全国各地の学校で熱中症により病院に搬送される事態が多発している。本市においても早急にエアコン設置が必要ではないか。

答 ことしの夏の平均気温が例年より高く、非常に猛暑であったという事実もあり、今後、国の政策の動向等に注視しながら判断していく。



問 愛知県豊田市で小学1年生の男子児童が熱中症で死亡するという痛ましい事故が起きました。

答 その後、政府は小中学校のエアコン設置については、年間1300億円を予算化し、400万円を超える場合は3分の1を補助するというが、どのように考えているのか。

答 優先順位を検討しながら、エアコン設置については前向きに考えている。ただ、財政状況と、国の補助部分等をしつかりと検討しながら最終判断をしていく。

問 小中学校全ての普通教室にエアコンを設置すると費用はどのくらいかかるのか。教室の数は。

答 概算で1教室当たり152万円程度。普通教室70教室、理科室や音楽室等授業にかかわる特別教室50教室、これをもとに試算すると、おおよそ1億82

40万円かかる。

問 エアコンの設置が決まったときには、この設置工事は、市内の電気店とか業者を活用して、枕崎市の活性化に力を注ぐべきと思うがいかがか。

答 設置するとなったときには、当然そのような形で進めていきたいと思っている。



その他質問事項

- ・通学路のブロック塀について
- ・乗り合いタクシーについて

これまでの施政方針の取り組みについて



■ 清水 弘 議員

問 平成23年度の交通弱者対策やコンパクトシティ実現について

答 市街地と他の地域を結ぶコミュニケーション、交通など課題があり、具現化に至っていないものもある。高齢者等の買い物、通院など交通弱者対策等、具現化に至っていない。福祉的意味合いのタクシーによる仕組みづくりを関係課に指示している。

問 平成24年度の稚内市との友好交流による経済交流について

答 経済交流効果として、数値的に示すことはできない。お魚センターに来る客はカツオを食べたいということ、稚内商品を市外の方が買つところは見受け

られない。

問 平成25年度の空港跡地利用により事業者から年間8500万円が本市及び南薩エリートに支払われることについて

答 平成25年度8500万円、平成26年度8598万円、平成27年度以降は固定資産税を含め8000万円程度である。

していた。これは、各自治体の常識的判断に任せるという国の考えを踏まえたものである。

問 平成28年度の新しい人の流れをつくるについて

答 本市人口は、平成29年度は305人減少、平成28年度は449人減少、目標人口維持のため、市民の声を十分に踏まえた住民サービ

ス向上を目指す。

今後の新規事業として、移住者が定住等を目的としたリフォーム等に対する助成制度について検討を進めていく。

問 職員の意識改革として、市職員を民間会社1〜2年程度派遣させる考えについて

答 職員の人数の問題等もあり、私も副市長も民間出身なので、日常の仕事の中で伝えていきたい。



平成27年からふるさと納税返礼制度が始まった。他市に比べ本市の取り組みがあくれた理由について

答 ふるさと応援寄附金条例制定のための協議の中で、特産品の贈呈は行わず、御礼状の送付にとどめると決定

して

その他質問事項

- ・本市活性化策について

一般質問

交通弱者対策について



■ 徳 議員 ■
■ 占 補 ■

問 高齢者等及び交通弱者の交通手段確保はどのようになっているのか。

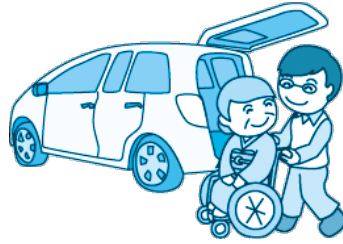
答 乗合型デマンドタクシーを加えた枕崎の新交通システムの構築を目指し、福祉的な意味合いのタクシー活用の仕組みづくりから進める。タクシー料金の一部助成の方向で、対象者の範囲や支援内容等の制度設計の調整を行っている。

問 対象者の把握については。

答 65歳以上の高齢者は8000人を超え、75歳以上の高齢者については4000人を超えている。また、要介護の認定者、障害者の方々の把握をしている。

問 法定協議会の設立についてはどのようになっているのか。

答 現時点で、福祉的意味合いのタクシーを活用した支援では考えていない。



問 交通弱者の生活交通確保維持に可能な財政支援には何があるのか。(国・県分)

答 乗合型デマンドタクシーの実施については、今現在は対象外とのことだが、それにかわる対応策は。

問 スピード感をもって早期に取り組めるタクシー料金の運賃の一部助成を考えている。交通弱者の対象範囲についてはどのように

な考えなのか。

答 免許を持っていない方の人数の把握はできているのか。

問 65歳以上では2955人と把握している。免許を返納された方の、運転経歴証明書の利活用についてはどうなっているのか。

答 免許返納の状況は、8月末で70名が免許返納されているが、運転経歴証明書の活用については、把握していない。

問 本市の買い物弱者の実態についてはどのような考えなのか。

答 買い物弱者等の実態把握を目的として調査をしたことはない。

その他質問事項
・景観行政団体について

新時代の地方制度について



■ 徳 議員 ■
■ 立 補 ■

問 平成時代の地方行政における最大のテーマは市町村合併であった。次の時代の制度を調査し、圏域における自治体の協力関係などを審議する第32次地方制度調査会が発足した。本市として圏域行政をどのように考えているのか。

答 総務省の研究会は、人口減少に伴い、個別の市町村が全ての行政サービスを提供するフルセット主義から脱却する必要性を強調。新たな法的枠組みのもと、圏域単位で行政を進めることを求めている。人口減少が加速する状況を踏まえ、地方制度調査会の議論を注視することが重要と認識している。

問 2020年4月から、会計年度任用職員制度がスタートする。新制度への対応はどのようになされているのか。

答 新たに創設された会計年度任用職員には、地方公務員法上、一般職員に適用される各規定が適用される。来年9月議会を目標に関係条例案を提案したいと考えている。

会計年度任用職員制度について

問 2020年4月から、会計年度任用職員制度がスタートする。新制度への対応はどのようになされているのか。

答 来年度分の譲与額は300万円ほどになる。事業として、間伐等の事業、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進、森林・林業整備の普及啓発などを考えている。県や森林組合などの林業関係者と検討を行っている。

える仕組みとして森林環境税が創設される。課税は6年後だが、森林現場における課題に、早期に対応するため、来年度から譲与税が付される。貴重な譲与財源をどういった事業に活用していくのか。

問 都市、地方を通じて、国民皆で森林を支



森林環境税(仮称)について

問 都市、地方を通じて、国民皆で森林を支

その他質問事項
・財政について
・地方債償還可能年数について

スポーツによるまちづくりと中学校の統合・再編について



■ ■ ■
明 史 議員
■ ■ ■
森 城

問 過去5年間に於ける市営野球場の整備費用額は幾らか。

答 維持補修費等の総額は104万円である。

問 市営野球場のコンクリートフェンスを、けが防止のためラバーフェンスにかえてほしいとの要望があるが、どのように考えるか。

答 コンクリートフェンスの市営野球場は、現状、軟式野球主体で利用されており、基本的に硬式野球は難しいと考えている。ラバーフェンスの整備費用は4000万円かかることから、その必要性については、優先順位等も含めて検討していきたい。

問 昨年度のスポーツ



市営野球場

合宿受入数は、南さつま市は9807人、指宿市は4090人であるが、本市は非常に少なく、福岡工業大学野球部も2年前に合宿を中止した。スポーツ合宿は、多くの若い人が本市に集まり、大きな活性化をもたらす大事な交流事業と思うが、本市は今後どのようなスポーツによるまちづくりを行うのか。

答 枕崎ならではのスポーツ合宿受け入れができないものか、庁内や市民の意見を聞きながら、前向きに検討していきたい。

問 文科省が示す学校の適正規模は、12学級以上18学級以下となっており、本市中学校の全体の学級数は18であり、適正規模の上限にある。今後、生徒数が減少していくことから統合・再編の必要性があると思うが、どのように論議されているのか。

答 枕崎の教育の強みまたは特徴は、4校区に1小1中が存在することと考えている。学校を統合することではなくこの特徴を生かした教育に取り組んでいきたい。

その他質問事項

・ 枕崎市公共施設等総合管理計画について
・ 本市における、急傾斜地崩壊危険箇所や山腹崩壊危険箇所等の土砂災害危険箇所の安全対策について

交通弱者対策について



■ ■ ■
永野慶一郎 議員
■ ■ ■

問 本市においても免許を返納する方が年々増加しているが、免許返納者の方への優遇制度など、周知等含め本市ではどのような対応をしているのか。

答 本市においては、買い物料金の5%割引きを行う高齢者運転免許自主返納割引制度を開始しており、今後、市広報紙への掲載、枕崎警察署及び商工会議所等と連携・協力し、さらなる周知の徹底に努めていく。

問 交通弱者対策として、タクシー料金に係る一部助成という支援策から進めていこうというところで、スケジューリング感を持って取り組んでいくということだが、具体的にはいつぐらいから一部助成を開始する予定でいるのか。

答 基本的には、来年度のいつからとはまだ言えないが、来年度中どこかでは実施したいと考えている。



金山小学校跡地の有効利用について

問 現在、金山小学校跡地の施設の利用状況はどうなっているのか。

答 地域のグラウンドゴルフ練習等や、地域や子供たちとの触れ合

い活動に取り組んでいる団体等の活用も見受けられる。

問 以前、金山小学校跡地を活用したアイデア募集をしていたが、当時応募した団体等を含め、今後どのように跡地活用を進めていく予定なのか。

答 旧長谷小学校の森の学校が非常に注目度を上げていくが、毎年イベントが行われることによって、次のアクションができてきたりするので、どのような形が金山小学校跡地として必要なかを考えていきたいと思っている。



金山小学校跡地

市民と市議会との意見交換会

市民と市議会との意見交換会が10月3日に市民会館と別府センター、10月4日に城山センターと立神センターで行われ、44名の参加がありました。

まず、テーマに沿った意見交換会を行い、その後、自由討論を行いました。意見交換会の主なやりとり等については次のとおりです。

主な質問・意見

○テーマ

産業の振興について
ふるさと応援寄附
金を活用した事業

問 銀座のホコ天などで、土・日に露店を出して枕崎の地場産品を出品し、多くの人にPRしてはどうか。

【会場】市民会館
問 市長は産業振興のためにトップセールスをするが、その成果はどの程度あるのか。

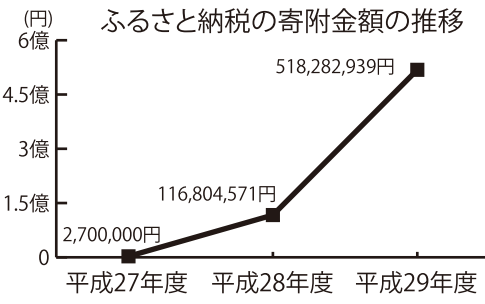
答 渋谷区役所が食堂で、鹿児島市と提携し鹿児島の食を提供する。枕崎産のかつおぶしでだしをとったそばが区役所で提供されるようになる。

答 現在、東京などに多く足を運んでいるようだ。そのほかに、関東・東海・近畿枕崎会などへも参加している。

問 有楽町のかごしま遊楽館に枕崎の地場産品を出品している。

問 ふるさと納税について、目標は立てているのか。

答 企業版ふるさと納税が枕崎はないので、今からつくっていったら例えば野球場のラバーフェンス設置費用などいろいろなものに生かしていかなければいけないと考える。



答 今年度から返礼率が3割に変更になったが、返礼品の受注・発注を民間に委託した。民間の力を活用し、前年並



市民会館での意見交換会

問 市民一人一人が、枕崎を知ることが大事。その上で、人に伝え広めていくことが枕崎のPRを図る上で大事なことだ。

問 フランスにかつおぶし工場をつくったが、本市との関係は。

答 本市としては全面的に支援している。近年、静岡地区のかつおぶし生産者がEU諸国へかつおぶしを輸出している。

問 カット関連のサプリメント開発に取り組んだらどうか。

答 既にDHAを初め多くのサプリメントが

みの納税を目指してもらいたいと考えている。

意見 ふるさと納税は、しっかりと目標を立てて、10億や20億を目指すなどの意気込みがないといけない。

意見 ふるさと納税はあくまでも人頼みである。今後どのようにするのか、動向を注視していく必要がある。

意見 市民一人一人が、枕崎を知ることが大事。その上で、人に伝え広めていくことが枕崎のPRを図る上で大事なことだ。

【会場】城山センター
問 枕崎の水産業は、10年前と現状はどうなっているのか。

答 枕崎漁港の平成29年水揚げ数量は、約9万3000トン、金額で約182億円である。これは、ここ数年の実態は横ばいであり、全国第8位の取扱実績である。

できてはいるが、最近では「カットエラスチン」の美容効果が注目されている。

意見 市民からの日常的な意見を汲み上げる仕組みと工夫が必要ではないか。U・イーターの在任地のコネクションを市政に活用しては。

○自由討論
【会場】市民会館
問 空き家が、今後ますます増加していくので、徹底して対策を考えてほしい。

答 1軒1軒把握して、危険空家については市民に危険を及ぼさないよう、行政は徹底して指導してほしい。また、空き家を住居として活用してほしい。

答 市内の空き家調査の結果、1083軒の空き家があり、AとDのランクづけを行っている。危険空家の解体には、市からの3分の1以内の補助(上限30万円)がある。空き家

の活用については、空き家バンクを設置して活用を進めているので、当局へはさらに要望していきたい。

問 議会において、もっと市民にわかりやすいように運営してほしい。例えば、一般質問が終了した場合、「休憩します」ではなく、「これで誰々の一般質問を終わります、何時何分まで休憩します」と言うべきだ。

答 議会で改善をしていきたい。

問 健康増進政策においては、予防対策を重点にやるべきだ。病気になるように、食事や運動など予防に力を入れるべきではないのか。議会は先進地等の研究はしていないのか。

答 議会で視察に行つた長野県の先進事例に倣って、保健推進員を地域に多数配置したり、市民の健康に対する意識を高めたり、運動や食事の重要性等、予防

対策をさらに当局に要望していく。

問 枕崎の将来について、悲観的な要素が多く、非常に不安に思う。10年後、20年後を見据えたまちづくりを示すべきで、そのためには人材育成が最も重要で若い人を育成し、オー

答 将来を担う若い人が枕崎に住みたいというまちづくりを推進していくに若い人をふやしていくかだと思う。それを

問 本市も、いちき串木野市のように焼酎で乾杯のおもてなし条例をつくり、盛り上げるべきではないのか。

答 以前、議会でも議論されたが、当局はやる気を示さなかつた。おもてなし条例をもう一回提案してもよいのではないか。

要望 意見交換会への

市民の参加が少ないのは驚いた。ふるさと納税については、ただ納税してもらっただけではなく、枕崎をPRすることにやり、リピーターをふやすとか発展的に取り組んでほしい。



別府センターでの意見交換会

クラブに加入しないとバスは借りられない。

問 別府上手地区は、地域で簡易水道（小規模水道）を管理しているが、いろんな面において不安もある。将来的に市の水道を整備する計画はないのか。また、簡易水道（小規模水道）は水質検査等の補助はないのか。

答 水道を整備すると莫大な予算を必要とし、水道料金も現在よりも高額になることが予想される。地域の中で合意形成が図られたときは要望していただきたい。

当該地区における共同施工による取水、導水、浄水、送水、配水の施設設置、または改善に要する経費は、補助率2分の1以内で補助金の対象となる。

問 新ごみ処理施設の建設に向けた進捗はどうなっているか。

答 4市で構成する衛生組合において建設候補地は南さつま市金峰

町高橋に決定し、平成36年に稼働する計画で協議中である。

意見・要望 ごみ処理施設にごみを持ち込む場合、有料にして、少しでも経費に充てたらどうか。

【会場】立神センター

問 フランスかつおぶしの実態はどうなっているのか。

答 現在、フランスで製造しており、フランスやイギリスで販売をしている。焼津の業者がつくっているかつおぶしもEUに販売されている。

問 枕崎は産業全体にわたって従業員不足ではないのか。雇用対策に取り組むべきではないのか。

答 農業においては鹿児島の人材センターから派遣してもらっている。建設業においては技術者が少なくなっている。外国人の技術者を育てる必要がある。



立神センターでの意見交換会

問 ふるさと納税の返礼品割合はどのくらいで、経費代の割合はどのくらいなのか。

答 返礼品割合は30%で、経費は約20%である。内容については当局に確認する。

問 危険家屋の解体費用補助金は、どのくらいあるのか。

答 解体見積額の3分の1以内で上限30万円までとなっている。
意見 売り家とする看板があるが、ゆずり家

としてはどうか。

問 ふるさと納税に対して、納税額をふやすために冠イベントは考えていないのか。

県外へはPRしていないのか。

答 県外の枕崎会等やHP等で常にアピールしている。

【会場】城山センター

問 市議会はいかにして民意を吸い上げるかが大事であると思う。日常的に意見を吸い上げる方法も検討してほしい。

答 市民と市議会との意見交換会を実施して5年目になっている。本年前半には各種団体と議会の意見交換会も開催した。

今後、要望のあったことを踏まえ、この会をさらに充実させていきたい。

問 本市において、土地の未登記が農政関係(276件)、建設関係(182件)、財政関係(50件)、水道関

係(1件)出ている。この事実をどのように考えているのか。

答 未登記の件は基本的に国が対応すべきであり、自治体としても努力していきたい。



城山センターでの意見交換会

要望 内鍋清掃センターの受付に係員とガードマンが配置されているが、必要かどうか検討すべきと思う。

要望 市の老人福祉バスの利用について、市老人クラブ連合会に未加入の老人クラブでも利用できるように検討してほしい。

要望 枕崎市は外灯などの照明が少なく、よそと比べ非常に暗いと思う。明るい町にしたい。

意見 市議会の傍聴者が少ないと思う。議会としても傍聴の充実に努力すべきである。

アンケート調査結果

参加者の皆さんにアンケート調査にご協力いただきました。今後の参考にさせていただきます。

※紙面の都合で一部のみの掲載になっていますが、ホームページには掲載してまいりますので、ごらんください。

今後の意見交換会(テーマ含む)の内容、運営などについて

・年に2回ぐらい開催してほしい。
・人が集まらない。PR不足ではないか。人が少ない。
・貴重な話し合い。集落から5名以上参加者が出てほしいと思います。

・交通弱者の対策があると聞けてよかった。
・若者を集めるには、もっとフクフクする話を聞きたいと思います。
・テーマ、産業の振興ではなく文句ばかり言っている。会の進め方

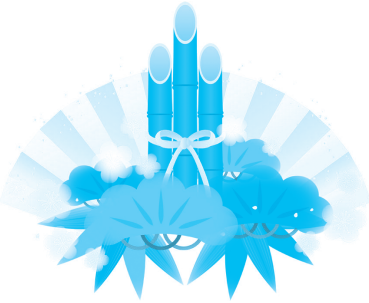
をもつ少し考えたほうがいい。

・開催場所は、地区センターから校区単位(各公民館)でしたらどうか。
・時間帯を18時〜20時30分くらいまでにしたら意見が多く出てよい方向に進むと思います。

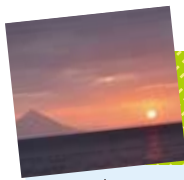
今回の意見交換会について何か気づいた点等
・市民の参加人数が少ないと思います。
よい機会だと思えますので、ぜひ、より多くの市民が参加するための会にしたいだければと思います。
・まずは枕崎を好きになつてもらおう。枕崎市民が興味を持ってもらうことが必要。
・意見と回答の両方をホームページにアップして閲覧出来るようにする。ただ言いつ放しでガス抜きだけでは何の意味もないのではないか。
・子供に農業、水産業を知ってもらいたい枕崎で

働いてもらう。
空き家など調査・整備して人が住みつく枕崎へ。

・市会議員各位。真剣な討論に敬意を表します。激しい意見もあつたが、意見は意見として。今回は黙す。
・住んでいる私たちが枕崎をキライであれば何もできない。いいところをたくさん見つけようと思える意見交換会でした。
・皆さん、市民の意見を聞こうとする市議の方々の気持ちは伝わっています。
・建設的な意見が少ない。
・生活インフラ(高齢化時代を迎える)の充実が必要との意見あり↓始良市がオンデマンド交通に取り組んでいるので参考にしたらどうか。



問 行政は、道路だけつくって、その後の管理をやっていない。
答 担当課としては、道路パトロールをしっかりやっていくと言っているが、市民の声として具体的に伝えておく。



議会だより表紙の写真募集!



まくらざき市議会だよりは、年4回（6月・9月・1月・3月）発行しています。

市議会報調査特別委員会では、より市民に親しまれる市議会だよりにするため、表紙の写真を次のとおり募集します。お気軽にご応募ください。

● 募集する写真

市内で撮影された四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真。

● 募集方法

住所・氏名・電話番号・撮影場所・撮影日時・写真のタイトルを記入の上、議会事務局へメール、または郵送もしくは持参してください。

● 応募上の条件

- ・被写体が人物または個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）または所有者の承諾を得てください。
- ・採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ・ご応募いただいた写真等は原則返却いたしませんので、ご了承ください。

● 選考方法

市議会報調査特別委員会で決定し、掲載します。

● 応募の期限

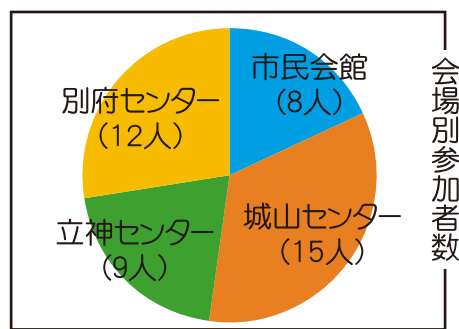
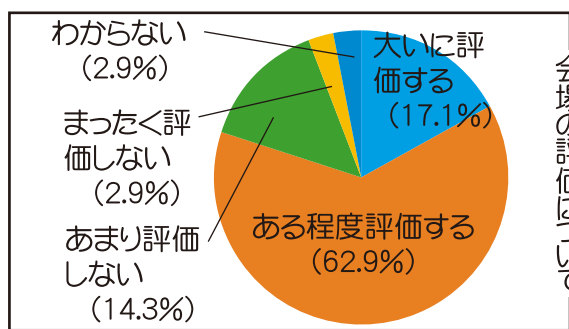
3月号の締切⇒平成31年 1月18日（金）

※応募の詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局（市議会報調査特別委員会）
 住所：〒898-8501 枕崎市千代田町27
 電話：0993-72-1111
 メール：giji3@city.makurazaki.lg.jp

市民と市議会との意見交換会アンケート集計結果



議会報調査特別委員会
 委員長 下竹 芳郎
 副委員長 永野 慶一郎
 委員 中野 重信
 委員 吉原 周作
 委員 豊留 榮子
 委員 清水 和弘

「災害対策は早目の対応」「自分の生命、財産は自分で守る」を合言葉に頑張りましょう。
 （清水和弘）

我が町を大雨災害から守るためには、都市計画の重要性、排水ポンプ設置箇所や発停水位の位置の設定など、地域の河川状況を熟知することが大雨災害防止に役立つことを再認識しました。

本市では、大雨の際、宮前町、田畑・田中地区、平田瀧や山下地区周辺は浸水が発生しています。このような状況の改善に役立てようと、7月に発生した中国地方の大雨災害状況を同僚と2人で岡山県倉敷市真備町周辺の調査を行いました。

編集後記